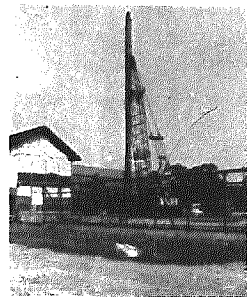


本場小一部改良

総工費七、八〇〇万円

本物小学校の一部がこのほど改築されます。大正七年に建築された、この校舎七八〇㎡は、耐力度二六〇三点と老朽化が激しく、一時は板井、黒鳥、木場を地域とした統合小学校という考えもあつたが、独立校として整備充実することになった。現在、木造校舎の取り壊しも終了し、来年二月二十六日完成をめざして、朽打ち工事が行われています。工事規模は総工費七八九四万円、鉄筋コンクリー



上二階建、延面積七五六㎡(普通教室三、管理諸室六)が建設されます。

戦没者遺族に

新たに特別弔慰金が支給

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法の一部改正により、戦没者の妻または兄弟姉妹に新たに二〇万円(一〇年償還の国債)が支給されることになりました。支給の条件は、昭和五十年三月三十一日までに、公務扶助料遺族年金等を受給していた人が死亡等により失権し、他にこの年金等を受給することのできる人がいないこと。

(1) 前に特別弔慰金(三万円)の受給した人が死亡した場合も対象となります。

(2) 昭和十六年十二月八日以後の戦没者の遺族で弔慰金を受給した人がおり特別弔慰金(三万円)を請求しなかった遺族

(3) 昭和十二年七月七日から十六年十二月七日までの間の戦没者の遺族

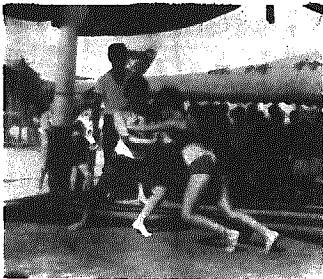
請求手続等詳しいことは役場厚生課へお問い合わせください。

秋の全国交通安全運動

ちびっ子相撲大会

賑わう

夏休み恒例の少年相撲大会が、八月二十一日、諏訪神社境内の土俵で、町教育委員会、大野相撲協会の主催で盛大に行われた。今年で七回目を数え、夏休みには恒例となったこの大会は、児童生徒の健康の維持と体力の増強、そして健全な青少年の育成を主眼とし開催されて来たもので、今回も小・中児童・生徒三百人が、各小学校からは応援団もかけつけ、黄色い声援が会場を賑わしていた。選手は真黒に目焼けた体をぶつけ合い、投げられて砂だらけになる者、勝ってニコニコ顔の者、



体力づくりと自然にしみ、自然を愛する運動をす、める目的で左記により行います。参加をお待ちしております。

なお、今回は目標の關係で、おとしよりと子供の参加はこえんりよくださるようお願いします。

記

第5回町民登山

- 一、期日 十月十日(金) 体育の日
 - 一、行先 新築田内(二王子岳(四二二m))
 - 一、参加費 一人 八百円
 - 一、申込み 参加費を添えて、9月30日までに黒崎町公民館へ。代理の方でもけっこうですが、その場合は、参加者氏名・部落名・世帯主名・連絡先(電話番号)を明確に。
- ※ 問い合わせは黒崎町公民館 (7-3101公民館) まで
尚、十月十日雨天の場合、中止とします。

兵士送迎や当時の社会状態(2)

本流し旗に擁されて、万才万才の歓呼の聲に送られる様子は、あたかも日清、日露二大戦後の士気高潮の時代とて、それは今想ってみても生別、死別の時と言った、悲しい門出であった。また、その当時縦縞の木綿合羽にシユロ

料理飲食

消費税が改正

地方税法の一部改正により、宿泊、料理飲食等にかかる免税点が次のように改正されます。実施は十月一日から

- 一、旅館
 - ①旅館における宿泊一泊二食の料金三四〇〇円以下の場合には免税となります。(現行二四〇〇円)
 - ②①の追加飲食等については、一七〇〇円以下の場合には免税となり、一七〇〇円以下の場合には免税と
- 二、飲食店等
 - ①飲食店の免税点一七〇〇円以下の場合には免税となります。(現行二二〇〇円)
 - ②仕出し、出前をした場合、一人前の料金が一七〇〇円以下の場合には免税となります。(現行二二〇〇円)
 - ③経理区分食堂、デパートの食堂のような、あらかじめ食券を売る食堂で、財務事務所長の指定した場合における飲食、一品の価格が八五〇円以下の場合には免税となります。(現行六〇〇円)

「縦覧」

都市下水路計画

都市化地域の環境整備の一環として大野都市下水路の計画決定を、次により関係図書を一般の縦覧に供しておりますので希望者は縦覧して下さい。

昭五〇年八月十一日

- 一、縦覧についての公告
- 二、縦覧場所 黒崎町役場
- 三、計画区域 黒崎町大野 金巻 山田、鳥原、善久の各一部

9月22日〜10月1日まで

また、参加者全員に参加賞が贈られ、恒例の大会は無事終了した。入賞者は次のとおり(○は学校名)

- ★小学生の部
 - 四年一位永井雅弘(板井)二位佐藤一吉(木場)三位渡辺元(立佐)五年一位鈴木勝(山田)二位木村徹(大野)三位源川良典(黒鳥)六年一位江端俊幸(黒鳥)二位丸山宏(大野)三位田中和広(立佐)
 - ★中学生の部
 - 一年一位斎藤望二位大矢

ちよっぴり低調……

陸上記録会

来年は僕も君もあなたも参加

第一回陸上記録会が町陸上競技部の主催で、八月十七日、炎天下の黒中グラウンドで、十二種目が行われ、小学一年の児童から五十才までの広範囲の一三〇人が参加し、それぞれ自己の記録に挑戦し、一生懸命力走していた。記録にはもう一歩の感があつたが、雄飛する姿は「スポーツの町・黒崎」の名にはじない名スプリンターが誕生する日も近いと、関係者は期待に胸をなやませていた。

「男子」

小学低学年▽五十才一年永井勝行9秒4、二年大矢清市9秒6、三年萩野孝一9秒1、▽六十才一年永井勝行11秒3、二年大矢清市11秒1、三年松田一浩10秒0、小学高学年▽百才四年永井秀樹



閉会式に種目別年代別の最高記録選手及それに準ずる選手50人に銀メダルが、そして最優秀選手の松沢洋一君、大坂成美さんの二人にカップが贈られた。

来年はもっと多くの人の参加を期待しています。

写真説明 最優秀選手賞に輝いた右松沢君と大坂さん

15秒9、五年土田透15秒9、六年丸山宏15秒1、▽中学生松沢洋一12秒5、▽高校生大橋雄一12秒1、▽一般高橋勇12秒6、▽四十才以上杉本信夫13秒9、▽二百才四年永井秀樹34秒0、五年土田透33秒6、六年丸山宏31秒4、中学生松沢洋一25秒9、高校生大橋雄一25秒5、一般石川弘28秒1、▽四百才中学生松沢洋一1分1秒1、高校生大橋雄一1分0秒3、一般石川弘1分2分21秒9、守村徳2分29秒0、▽三千才一般宗村徳11分0秒3、▽走巾跳小学生永井武晴3分36、中学生松沢洋一5分05秒、高校生大橋雄一5分45、一般清水久七郎5分20、▽走高跳小学生永井武晴1分25、高校生旗本和弘1分63、▽